

我が国に輸入される牛肉・内臓に係る
食品健康影響評価（自ら評価）の
評価手法案（たたき台修正案）

自ら評価の評価手法案(たたき台)を作成した経緯

○本評価手法案は、

「我が国に輸入される牛肉・内臓に係る食品健康影響評価(自ら評価)」

に係るプリオン専門調査会における審議、また、食品安全委員会がこれまで実施した

「我が国における牛海綿状脳症(BSE)対策に係る食品影響評価」及び

「米国・カナダの輸出プログラムにより管理された牛肉・内臓を摂取する場合と、我が国の牛に由来する牛肉・内臓を摂取する場合のリスクの同等性に係る食品健康影響評価」

で用いた評価手法、そして、

OIEのステータス評価に用いられる評価項目及びEFSAのGBR評価手法

等をふまえて作成した。

○なお、本手法案は、自ら評価を行なう際の基本的な考え方を示したものであり、

評価対象国の個別データ、世界的なBSEの発生動向、関連する管理措置等をふまえ、

今後、プリオン専門調査会における審議の中で、適宜調整を行ないながら、

評価を進めていくものとする。

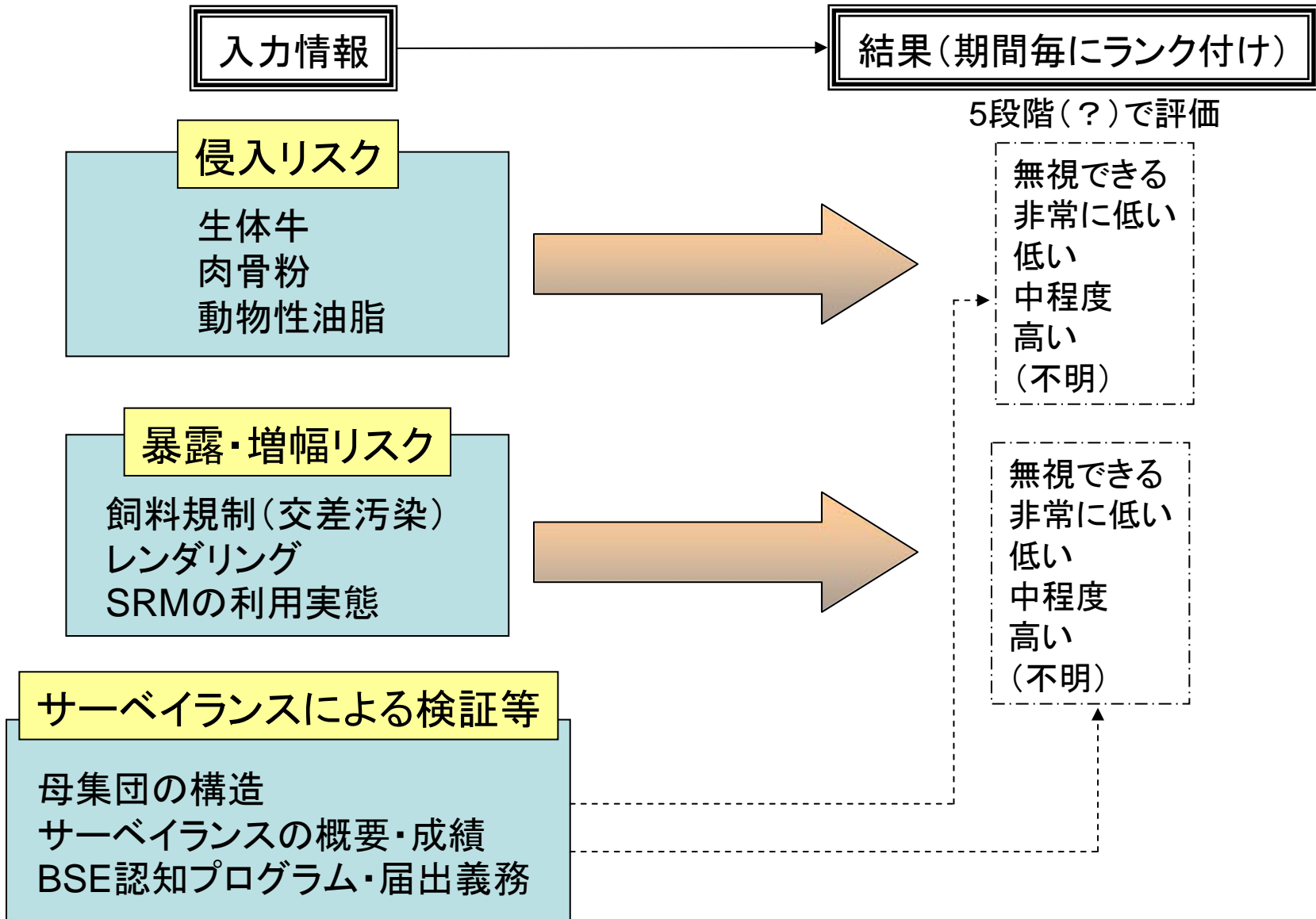
生体牛

- 侵入リスク
 - －生体牛
 - －肉骨粉
 - －動物性油脂
- 暴露・増幅リスク
 - －飼料規制
 - －レンダリング
 - －交差汚染
 - －SRMの利用実態
 - －牛以外の動物のTSE発生状況
- サーベイランスによる検証
 - －母集団の構造
 - －サーベイランスの概要・成績
 - －BSE認知プログラム・届出義務

食肉及び内臓

- と畜処理の各プロセス
 - －と畜場及びと畜処理
 - －と畜前検査
 - －と畜場でのBSE検査
 - －スタンニング
 - －ピッシング
 - －SRMの除去
 - －SSOP、HACCPに基づく管理
- 食肉等のリスク
 - －食肉処理場及び食肉処理
 - －食肉及び機械的回収肉(MRM)
 - －内臓
- その他
 - －日本向け輸出の付加的要件等
 - －トレーサビリティ

各入力情報のランク付けと結果の判定(生体牛)



侵入リスクの判定

生体牛及び肉骨粉(MBM)の輸入について、以下の加重係数を用いて、ピーク時の英国換算した数値を参考にして5年毎に侵入リスクを判定する。なお、ランク付けにあたっては、動物性油脂の輸入や遵守状況等も考慮する。

輸入生体牛(頭数:N)		
英国からの輸入	他のBSE発生国からの輸入	英国換算(N)
1988-1993年: 1 1986-1987年及び 1994-1997年: 0.1 1998-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001	・欧州(中程度汚染国) 1986-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001 ・欧州(低汚染国) 1986-1990年: 0.001 1991-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001 ・米国 1986-1992年: 0 1993年以降: 0.00002 ・カナダ 1986-1988年: 0 1989年以降: 0.0001 ・日本 1986-1991年: 0 1992-2006年: 0.0001 2007年以降: 0.00001	100<N 20<N<100 10<N<20 5<N<10 0<N<5

輸入肉骨粉(トン:N)		
英国からの輸入	他のBSE発生国からの輸入	英国換算(N)
1986-1990年: 1 1991-1993年: 0.1 1994-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001	・欧州(中程度汚染国) 1986-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001 *英国から輸入したMBMを再び輸出した可能性が高い国(フランス、オランダ、ベルギー、イタリア)については、1986~1996年の期間は0.1を用いる ・欧州(低汚染国) 1986-1990年: 0.001 1991-2005年: 0.01 2006年以降: 0.001 ・米国 1986-1992年: 0 1993年以降: 0.00002 ・カナダ 1986-1988年: 0 1989年以降: 0.0001 ・日本 1986-1991年: 0 1992-2006年: 0.0001 2007年以降: 0.00001	100<N 20<N<100 10<N<20 5<N<10 0<N<5

動物性油脂、
遵守状況

5年毎の
侵入リスク

高い

中程度

低い

非常に低い

無視できる

*データが不足している場合は「不明」と評価

侵入リスクの判定で用いる加重係数について

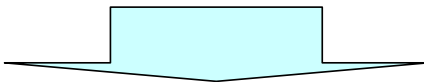
<現在の加重係数>

生体牛

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
英国	0.1	0.1	1	1	1	1	1	1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
欧州(中程度汚染国)*1)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
欧州(低汚染国)*2)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
北米(米国・カナダ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
日本																						

肉骨粉

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
英国	1	1	1	1	1	0.1	0.1	0.1	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
欧州(中程度汚染国)*1)*3)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
欧州(低汚染国)*2)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
北米(米国・カナダ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
日本																						



<変更案>

生体牛

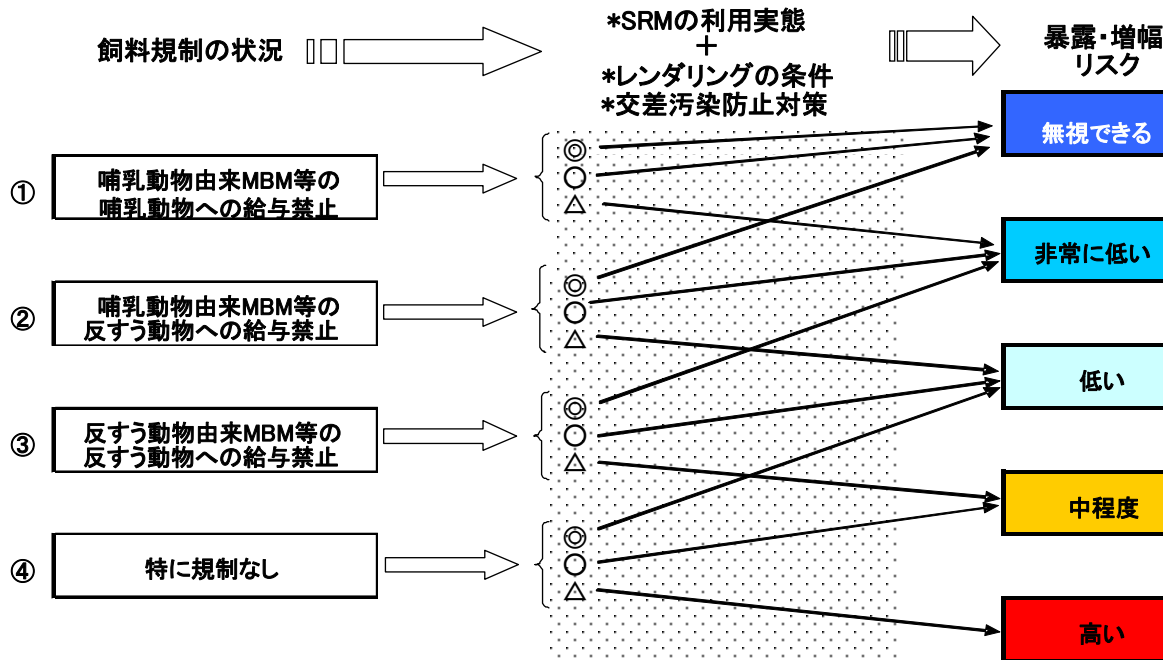
	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
英国	0.1	0.1	1	1	1	1	1	1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
欧州(中程度汚染国)*1)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
欧州(低汚染国)*2)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
米国	0	0	0	0	0	0	0	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002
カナダ	0	0	0	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001
日本	0	0	0	0	0	0	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001

肉骨粉

	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
英国	1	1	1	1	1	0.1	0.1	0.1	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
欧州(中程度汚染国)*1)*3)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
欧州(低汚染国)*2)	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.001	0.001
米国	0	0	0	0	0	0	0	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002	0.00002
カナダ	0	0	0	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001
日本	0	0	0	0	0	0	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001	0.0001

* 1) 中程度汚染国…フランス、オランダ、ベルギー、イタリア、アイルランド、ドイツ等
 * 2) 低汚染国…ハンガリー、ポーランド、デンマーク、オーストリア、チェコ共和国等
 * 3) 中程度汚染国のうち、英国からのMBM が再輸出された可能性の高い国(フランス、オランダ、ベルギー及びイタリア)は、1986～1996年(英国がMBM の輸出を禁止する前)について、加重係数0.01 の代わりに0.1 を用いる。

暴露・増幅リスク



* SRMの利用実態、レンダリング、交差汚染防止対策の条件の判定にあたっては、最初にSRMの利用実態について考慮し、SRMの多くが飼料として利用される場合には、レンダリング及び交差汚染防止対策の状況を踏まえて判定する。(可能であれば遵守状況等も考慮する)

1. SRMの利用実態

措置内容(例)	判定
・SRM及び死廃牛の飼料利用禁止	◎
・死廃牛は飼料に利用されず、SRMについても飼料以外の用途に利用される	○
・SRMの多くが飼料として利用される	2へ

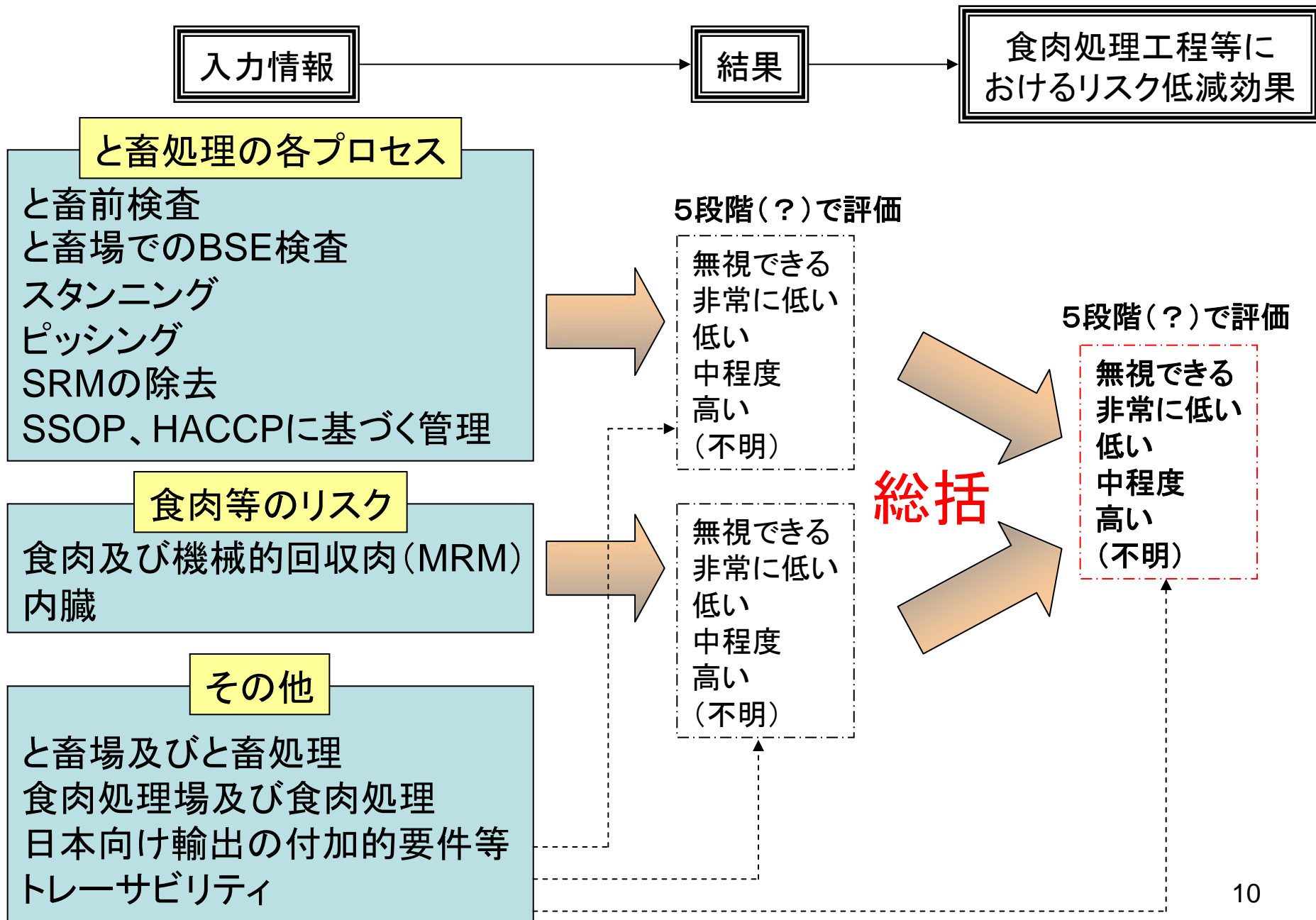
2. レンダリングの条件及び交差汚染防止対策

措置内容(例)	判定
・全てのレンダリング工場では133℃/20分/3気圧の処理かつ/または	○
・交差汚染防止対策として、施設の専用化やライン分離等を実施	
・上記以外	△

* また、期間については5年毎ではなく、規制措置の変更等があった時期を区切りとする。



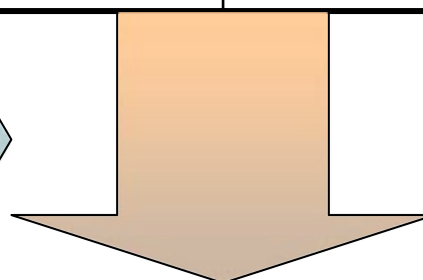
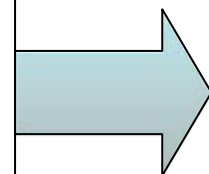
各入力情報のランク付けと結果の判定(食肉及び内臓)



食肉及び内臓のリスクの判定例

項目	リスクの判定例
と畜処理の各プロセス - と畜前検査 - と畜場でのBSE検査 - スタンニング - ピッシング - SRMの除去 - SSOP、HACCPに基づく管理	非常に低い 中程度～高い 非常に低い～低い 無視できる 非常に低い 低い
食肉及び内臓のリスク - 食肉及び機械的回収肉(MRM) - 内臓	無視できる 無視できる

日本向け輸出の付加的要件
 トレーサビリティ
 と畜場場及びと畜処理
 食肉処理場及び食肉処理

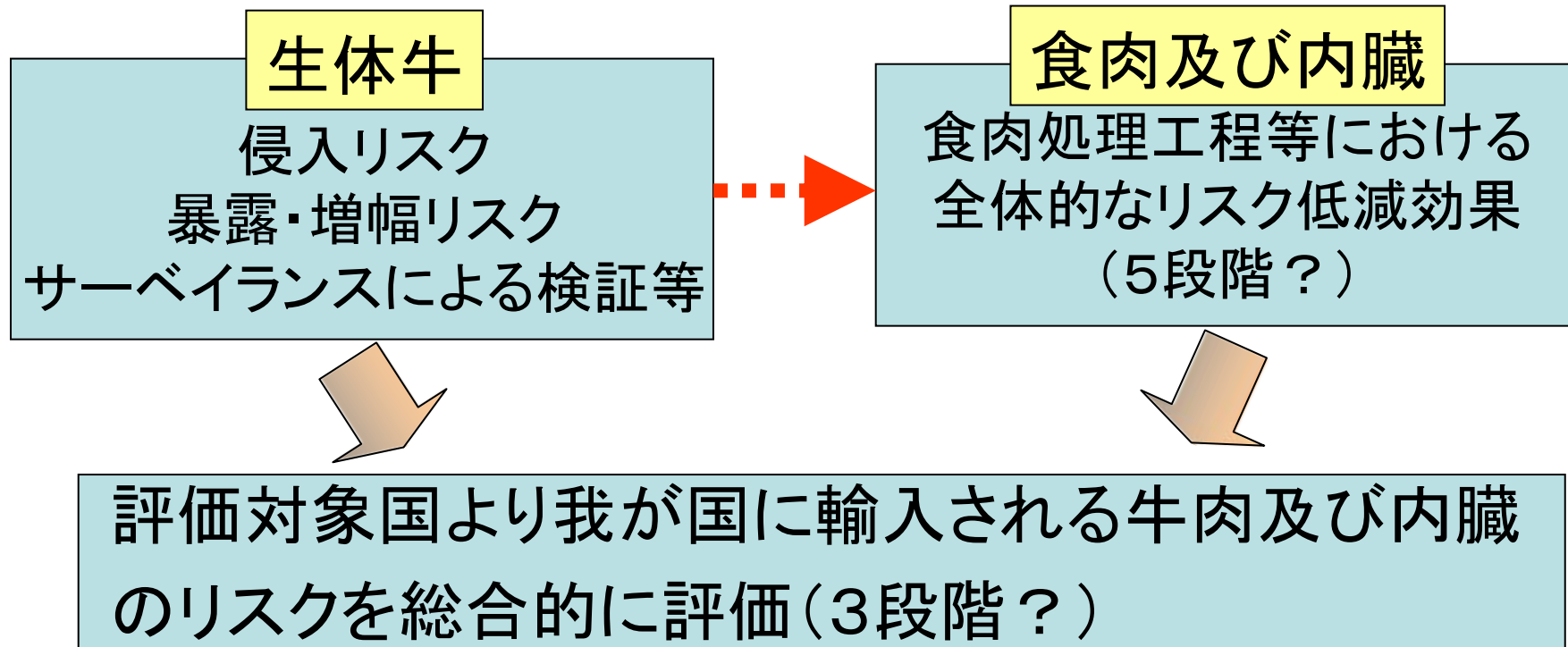


各項目の判定結果を踏まえて、食肉処理工程等における全体的なリスク低減効果を判定

食肉及び内臓の リスク	高い	中程度	低い	非常に低い	無視できる
----------------	----	-----	----	-------	-------

*データが不足している場合は「不明」と評価

評価結果のまとめ



○提出されたデータが不足している場合や、データの信頼性について疑義が生じた場合は、「リスクは不明」という評価も考えられる。

○総合リスクは3段階のリスクレベル(?)で簡潔に記述するが、審議の中で問題になった点及び不明な点等を留意すべき事項として言及する。